

春季彼岸会を終えて

今年の春分の日は、東京の桜の開花宣言が今日か明日かと待たれる、あたたかくおだやかなお天気となりました。

例年通り、天真寺の春のお彼岸法要が勤まる日です。ちょうど日本国中が大注目の野球の世界一決勝戦の日でしたから、皆さんお参りに来て下さるかしら……と少々心配しておりましたが、本堂ご満堂のご門徒さんがご参拝下さり、無事法要を勤めさせていただきました。

ご講師には、私も弟も大学で大変お世話になつたケネス・タナカ先生をお迎えしました。先生のご法話とともに、音楽家の奥様の歌指導と、新しいスタイルのご法話の時間となりました。先生は、「四法



「門徒の鈴木いとゑさん（北小金）が、ご近所のお寺の掲示板のことばに目を留め、教えて下さいました。私たちには仏さまを通して自分の心を知らされます。「心の鏡」を忘れずにいたいですね。

心の鏡

一、高いつもりで　　低いのは教養
一、低いつもりで　　高いのは気位
一、深いつもりで　　深いのは知識
一、薄いつもりで　　薄いのは人情
一、永いようでは　　短いのは人生
一、み佛は心の鏡

一、念佛を称えで
今之心を見つめなおそう

印」を中心にして、「転換」ということをお話し下さいました。

まず「四法印」とは、仏教の根本の教えで、諸行無常（常に変化する）、諸法無我（我を認めない）、一切皆苦（すべて苦である）

涅槃寂靜（安住の境地達する）

をいいます。私たちは仏教に触れるごとに、『人生は……』

スムーズではなく↓凸凹道だった

私のものではなく↓縁起に依るのだ

いつも同じではない↓無常であるのだ

惨めなものではなく↓いいものなんだ

と目覚めていくのです。そしてそれぞれを表すの

HINK B·I·I·G

英語の頭文字を取つて、「T

要するに、「大きく考えよう！」というメッセージを伝えて下さいました。

先生は、「四法

先生はアメリカ人ですか
ら、ご法話には珍しく英語で
がポンポン飛び出して、皆さん驚かれませんでしたか。

私たちの人生は凸凹道で
すから、思いもかけない別
れや悲しみを経験すること
もあります。

しかしそれを縁として、
このところがつながり、生きとし生けるものすべてに

う仏さまの教えを聞くこと、
ただくことで、私たちのも

の見方を「転換」すること
が大切だよ、そうすれば私
たちの人生がもつとすばら

しいものになるんだよとお
話し下さいました。

また仏教は他の誰でもな
い、この私の問題である、本
とお示し下さいました。

日本では仏教というと、
亡くなつた方の供養のため
と考えられがちですが、本

來は私の生き方を問うてい
くものです。

この一瞬、一瞬を大切に

生きることを仏教の教えを
聞くことを通して学んでい
くのです。

途中には「バラが咲いた」
「夕焼け小焼け」などの歌を
通して、仏さまのこころを
味わいました。

声を合わせて一緒に歌う
ことで、その場にいる人た
ちのこころがつながり、生

きとし生けるものすべてに
はたらく仏さまの願いのな
かで共に生かされているこ
とを感じられたのではない

でしようか。

ご法話後、先生の著書の
『真宗入門』は、最後の一
冊はじやんけん勝負（！）
という人気で完売しました。
読まれた方は、ぜひ感想
をお聞かせ下さいね。



最後にお手伝い下さった
門信徒会、また婦人会の役
員の皆様にお礼申し上げま
す。ありがとうございます。
(釋静香)

活動報告

暮集 婦人会主催 一日バス旅行 のお誘い



六月八日（木）はみなと横浜を一日バス旅行政致します。

中華街ランチにクルーズと、皆さ

んで親睦を図り、楽しく過

ごしましよう。

ぜひご参加下さい♪



★四月八日（土）は婦人会で、お釈迦さまの誕生日「花まつり」をお祝いしました。また総会では、婦人会の新役員が決まりましたので、ご報告申し上げます。

西原悦子（坊守）

安井誠子様

対馬千代様

木内元恵様

河野悦子様

木橋けい様

加藤貞子様

富永ミツル様

武安洋子様

北村信子様

皆様快くお引き受け下さい
り、大変感謝しております。

★先月号の寄稿者は「吉田志づ子」さんです。お名前
に脱字がありました。お詫びして訂正致します。

お寺の行事に婦人会の方々
の力は欠かせません。これから二年間、どうぞよろしくお願い致します。

★五月十日の「婦人の集い」
は、「仏教讃歌を楽しもう♪」
仏教讃歌の練習を致します。
たくさん素敵なお歌がありますよ！



ご門徒の竹内恵里さん（常盤平）にご指導いただき
ます。ご参加お待ちしております。

門信徒会・婦人会 合同役員親睦会、また婦人の集い後に、
「婦人会 新役員親睦会」を予定しております。

役員の皆様方には、ぜひ
ご出席くださいますようお願
い申上げます。

★先月号の寄稿者は「吉田志づ子」さんです。お名前
に脱字がありました。お詫びして訂正致します。